

TM-P20 Utility ユーザーズマニュアル

概要

TM-P20 Utilityの特徴や動作環境、インストールおよびアンインストールについて説明します。

使い方

TM-P20 Utilityの使い方について説明します。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載、複写、複製、改ざんすることは固くお断りします。
- 本書の内容については、予告なしに変更することがあります。最新の情報はお問い合わせください。
- 本書の内容については、万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- 運用した結果の影響については、上項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品がお客様により不適切に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたことなどに起因して生じた損害などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- エプソン純正品およびエプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

EPSON および EXCEED YOUR VISION はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。

Microsoft[®]、Windows[®]、Windows Vista[®]、Windows Server[®] は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Wi-Fi[®] は、Wi-Fi Alliance[®] の登録商標です。

Bluetooth[®] のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、セイコーエプソン株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

IOS は、米国およびその他の国における Cisco 社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

その他の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

©Seiko Epson Corporation 2014-2018. All rights reserved.

安全のために

記号の意味

本書では以下の記号が使われています。それぞれの記号の意味をよく理解してから製品を取り扱ってください。



ご使用上、必ずお守りいただきたいことを記載しています。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や動作不良の原因になる可能性があります。



補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。

使用制限

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。

本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、きわめて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

本書について

本書の目的

本書は、TM-P20 Utility の使用に必要な情報を提供することを目的としています。

本書の構成

本書は次のように構成されています。

第1章 [概要](#)

第2章 [使い方](#)

目次

■ 安全のために	3
記号の意味	3
■ 使用制限	3
■ 本書について	3
本書の目的	3
本書の構成	3
■ 目次	4

概要	5
■ 概要	5
■ サポート OS	6
■ インストール	7
■ アンインストール	7
■ OS による違い	8

使い方	9
■ TM-P20 Utility の起動	9
TM-P20 Utility を起動する	9
通信ポートを追加して TM-P20 Utility を起動する	11
■ 現在の設定	14
■ ロゴの登録	16
ロゴの書き込み	18
■ 用紙節約	22
■ 印刷制御	23
■ インターフェイス	25
■ 設定の保存と復元	30
プリンターの設定をファイルに保存する	30
設定をプリンターに復元する	31
■ 動作テスト	32

Acknowledgements	33
-------------------------------	-----------

概要

本章では、TM-P20 Utility の仕様について説明しています。

概要

「TM-P20 Utility」は、TM-P20 のパラメーターを確認し、設定する、TM-P20 専用のユーティリティです。また、Wi-Fi® 接続のプリンターの IP アドレスも設定できます。以下の機能があります。

メニュー	機能	ページ
ロゴの登録	<ul style="list-style-type: none"> • ロゴの登録 	➡ 16 ページ
用紙節約	<ul style="list-style-type: none"> • 上下余白の削減 • 行間 / 改行の削減率 • バーコード高さの削減率 	➡ 22 ページ
印刷制御	<ul style="list-style-type: none"> • 印字濃度 • 印字速度 • オートパワーオフ時間 • バッテリー充電モード • バッテリー残量少時の動作モード • オフライン中コマンド実行 • メモリースイッチ設定 (ブザー設定を含む) 	➡ 23 ページ
インターフェイス	<ul style="list-style-type: none"> • Bluetooth® (デバイス名、パスキー) • USB クラス • Wi-Fi 設定 	➡ 25 ページ
設定の保存と復元	<ul style="list-style-type: none"> • ロゴ登録ファイルとプリンターの設定を保存して、プリンターに復元する 	➡ 30 ページ
動作テスト	<ul style="list-style-type: none"> • テスト印刷 	➡ 32 ページ

サポート OS

- Windows 10 (32 bit/64 bit)
- Windows 8.1 (32 bit/64 bit)
- Windows 8 (32 bit/64 bit)
- Windows 7 SP1 (32 bit/64 bit)
- Windows Vista SP2 (32 bit/64 bit)
- Windows XP SP3 (32 bit)
- Windows Server 2019
- Windows Server 2016
- Windows Server 2012
- Windows Server 2008 R2 SP1
- Windows Server 2008 SP2 (32 bit/64 bit)
- Windows Embedded Standard 7 (32 bit / 64 bit)
- Windows Embedded POSReady 7
- Windows Embedded POSReady 2009
- Windows XP Embedded (32 bit)

インストール

TM-P20UtilityXXX.exe を実行してください。



Administrator 権限でインストールしてください。

アンインストール

以下の手順でアンインストールしてください。

- 1 コンピューターで行っている、他のすべての作業を終了します。
- 2 [スタート]-[コントロールパネル]-[プログラムのアンインストール]-[EPSON TM-P20 Utility] を選択し、"アンインストール" をクリックします。
(▶ [他の OS の参照先](#))
- 3 アンインストール確認画面が表示されます。[はい] をクリックします。
- 4 TM-P20 Utility のアンインストールが開始されます。
- 5 "アンインストール完了" 画面が表示されます。[完了] をクリックし、アンインストールを終了します。

OS による違い

本書では OS によって記載内容が異なる場合があります。以下を参照してください。

項目	説明
画面の説明	本書では Windows 7 の画面で説明をしています。 他の OS をご使用の場合は、読み換えてお使いください。
TM-P20 Utility の 起動	Windows 10 [スタート] - [EPSON TM-P20] - [EPSON TM-P20 Utility] Windows 8.1/Windows 8 [スタート] - [すべてのアプリ] - [TM-P20 Utility] Windows 7 [スタート] - [すべてのプログラム] - [EPSON] - [TM-P20 Software] - [TM-P20 Utility] Windows Vista [スタート] - [すべてのプログラム] - [EPSON] - [TM-P20 Software] - [TM-P20 Utility] Windows XP [スタート] - [すべてのプログラム] - [EPSON] - [TM-P20 Software] - [TM-P20 Utility]
アンインストール	Windows 10 [スタート] - [設定] - [アプリ] (または [システム]) - [アプリと機能] Windows 8.1/Windows 8 [設定] - [コントロールパネル] - [プログラムのアンインストール] Windows 7 [スタート] - [コントロールパネル] - [プログラムのアンインストール] Windows Vista [スタート] - [コントロールパネル] - [プログラムのアンインストール] Windows XP [スタート] - [コントロールパネル] - [プログラムの追加と削除]

使い方

本章では、TM-P20 Utility の使い方について説明しています。



設定の保存中は、プリンターの電源を切ったり、接続を切断したりしないでください。

TM-P20 Utility の起動

TM-P20 Utility を起動する

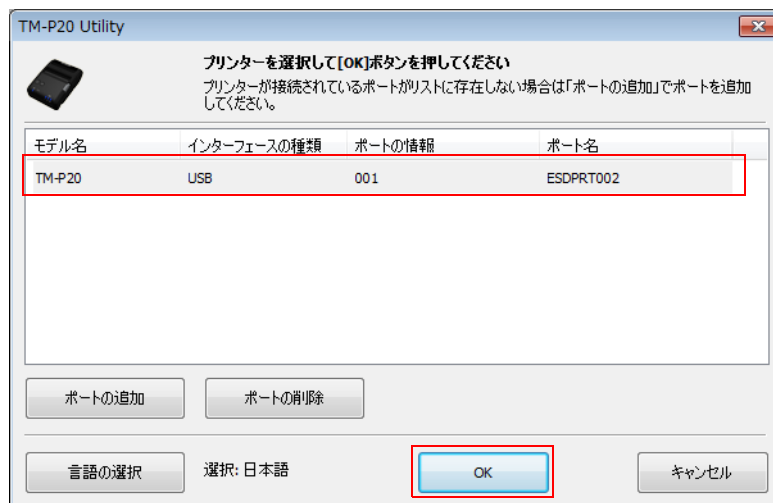
以下の手順で、TM-P20 Utility を起動します。

- 1 [スタート] - [すべてのプログラム] - [EPSON] - [TM-P20 Software] - [TM-P20 Utility] を選択します。

お使いの OS ごとの操作については、[8 ページ「OS による違い」](#) を参照してください。

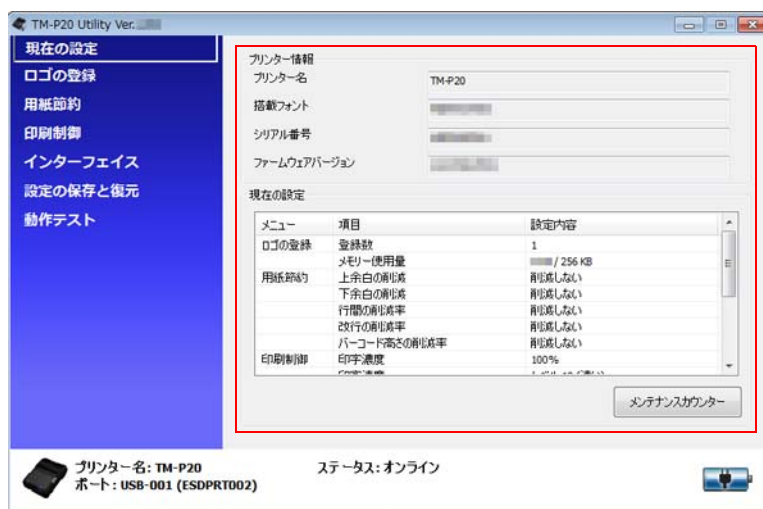
- 2 以下の画面が表示されます。TM-P20 Utility を使用したいプリンターを選択し、[OK] をクリックします。

表示する言語を変更したい場合、[言語の選択] をクリックします。プリンターが表示されない場合は、[ポートの追加] をクリックします。



- [ポートの追加] は、専用ポートを追加します。
 ➔ [11 ページ「通信ポートを追加して TM-P20 Utility を起動する」](#)
- ポートを選択し、[ポートの削除] をクリックすると、選択した通信ポートが削除されます。

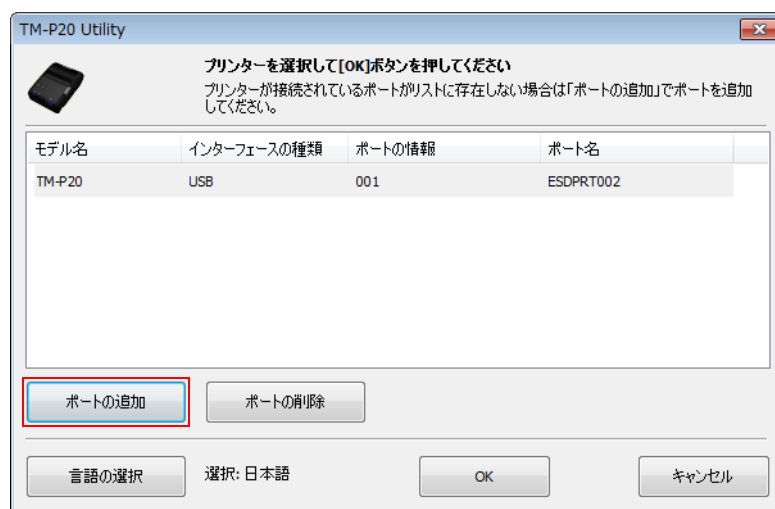
- 3 TM-P20 Utility が起動します。"現在の設定"画面に取得した値が表示されます。
 接続したプリンターを識別するには、TM-P20 Utility を起動後に テスト印刷 するか、プリンター側面の シリアル番号 と プリンター情報に表示されるシリアル番号を確認してください。



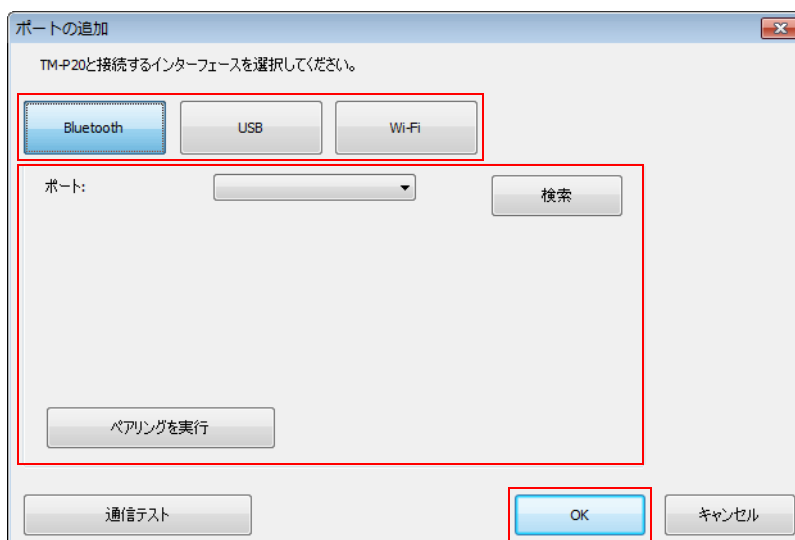
通信ポートを追加して TM-P20 Utility を起動する

以下の手順で、通信ポートを追加します。

- 1 [スタート] - [すべてのプログラム] - [EPSON] - [TM-P20 Software] - [TM-P20 Utility] を選択します。
- 2 以下の画面が表示されます。[ポートの追加] をクリックします。



- 3 [ポートの追加] 画面が表示されます。追加するポートの設定をします。設定後、[OK] をクリックします。



- ポートが通信できない場合、エラーメッセージが表示されます。その場合、ポートは追加できません。プリンターの接続や、通信設定を確認してください。
- [通信テスト] はテスト印刷ではなく、通信結果を画面に表示します。



- Bluetooth

項目	説明
ポート	使用するコンピューターの仮想シリアルポートを選択します。
検索	通信可能な仮想シリアルポートを検索します。
ペアリングを実行	EPSON TM <i>Bluetooth Connector</i> を起動します。 TM <i>Bluetooth Connector</i> からプリンターのペアリングをしてください。
通信テスト	通信テストをします。

- USB

項目	説明
ポート	使用する USB ポートを選択します。
検索	通信可能な USB ポートを検索します。
通信テスト	通信テストをします。



プリンタークラスとベンダークラスのプリンターが混在する環境では、プリンターを追加できないことがあります。この場合は、既存のプリンターの電源を切ってから、起動してください。

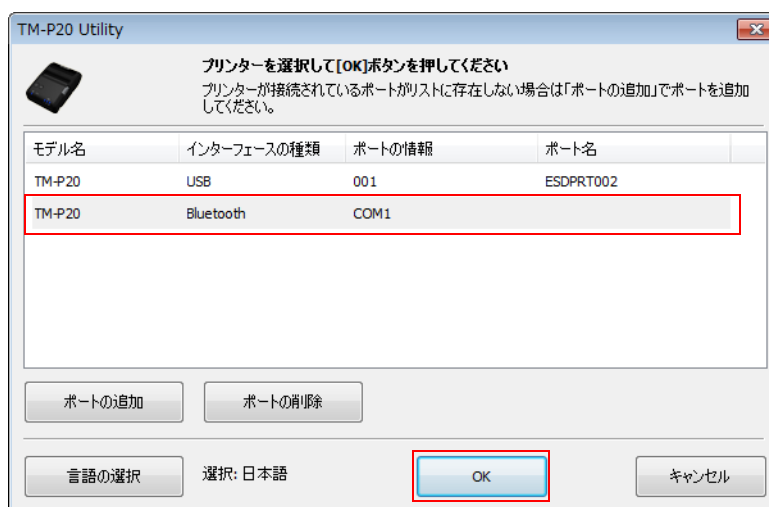
- Wi-Fi

項目	説明
IP アドレス	使用するプリンターの IP アドレスを入力します。
検索	ネットワーク上にある、TM-P20を検索し、IPアドレスを一覧表示します。
詳細設定 (EpsonNet Config)	EpsonNet Config を起動します。 EpsonNet Config からプリンターのネットワーク設定を行ってください。
通信テスト	通信テストをします。

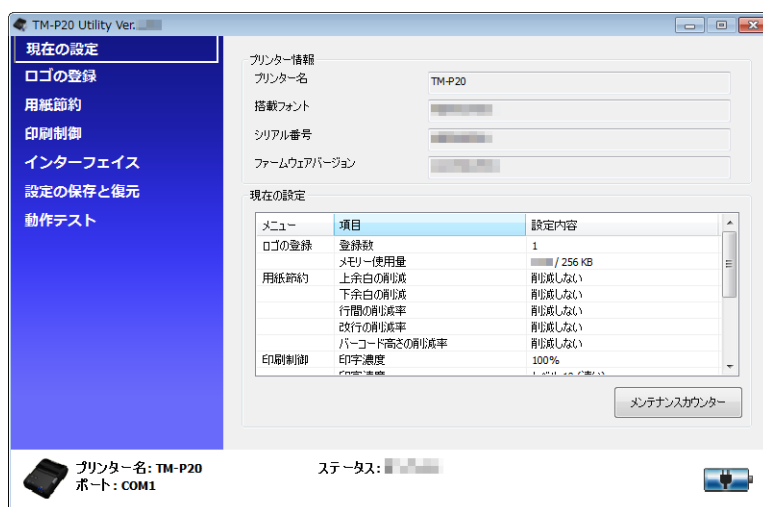


[検索] をクリックしても、IP アドレスを設定済みの TM-P20 が表示されない場合、TM-P20 の IP アドレスを [IP アドレス] に直接入力してください。

4 以下の画面に戻ります。追加したポートを選択し、[OK] をクリックします。

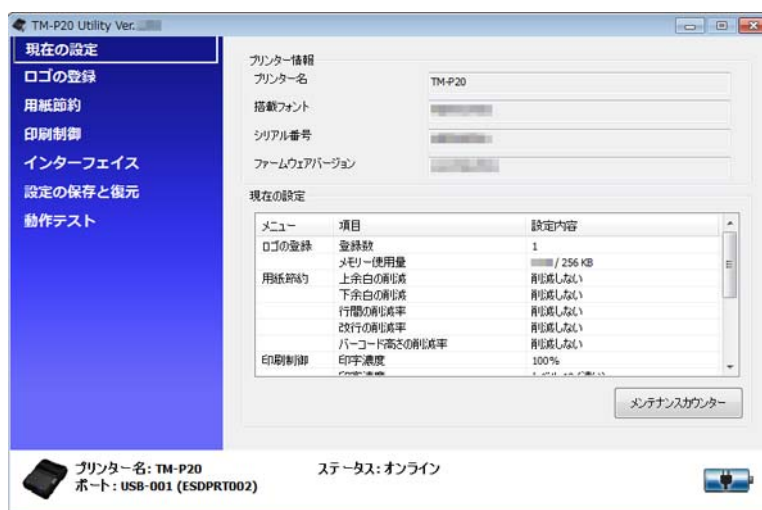


5 TM-P20 Utility が起動します。



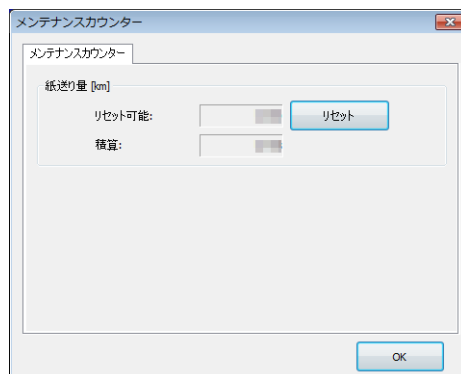
現在の設定

プリンターの設定状態の確認や、メンテナンスカウンターを確認します。



	項目	説明
プリンター情報	プリンター名	プリンター名が表示されます。
	搭載フォント	TM-P20 に搭載されているフォントセットが表示されます。
	シリアル番号	プリンターのシリアル番号が表示されます。
	ファームウェアバージョン	プリンターのファームウェアバージョンが表示されます。
現在の設定	ロゴの登録	登録されているロゴの数と、メモリーの使用量および全体量が表示されます。
	用紙節約	用紙節約の設定が表示されます。
	印刷制御	印刷制御についての設定が表示されます。
	インターフェイス	インターフェイスの情報が表示されます。
	メンテナンスカウンター	メンテナンスカウンターが表示されます。 ▶ 15 ページ「メンテナンスカウンター」
	バッテリーステータス	接続している TM-P20 のバッテリーステータスが表示されます。 ▶ 15 ページ「バッテリーステータス」

メンテナンスカウンター










以下のカウンター情報の確認と、リセット可能なメンテナンスカウンターは、[リセット]でリセットできます。積算はリセットできません。

- 紙送り量 [km][回]

バッテリーステータス

バッテリーステータスは、バッテリー残量とバッテリー残量少時の動作モード（モード1、モード2）の組み合わせによって、表示するステータスが異なります。

バッテリーステータス	バッテリー残量少時の動作モード	
	モード1	モード2
	ACアダプター接続状態	
	バッテリー残量：約60%～100%	
	バッテリー残量：約20%～60%	バッテリー残量：約40%～60%
	バッテリー残量：約10%～20%	バッテリー残量：約20%～40%
	バッテリー残量：約10%未満	バッテリー残量：約10%～20%
	バッテリー残量：約0%	バッテリー残量：約10%未満
	バッテリーステータス取得失敗（オフライン）、または情報取得前の状態	

ロゴの登録

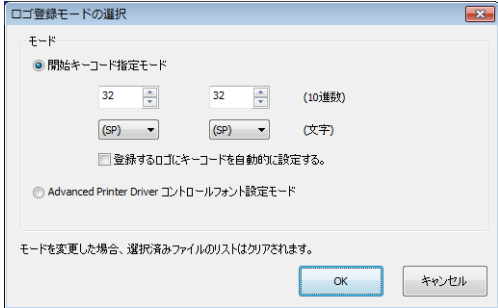
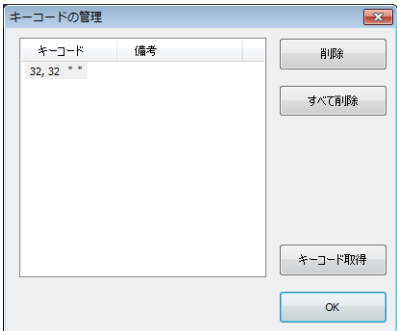
プリンターに書き込むロゴの設定をします。

プリンターに登録されているロゴを印刷したり、削除したりできます。しかし、ロゴを編集したり、再登録 / ファイル形式で保存したりすることはできません。



[ロゴの登録]には、以下の機能があります。

項目	説明
ロゴ登録モード	プリンターのロゴ登録モードを表示します。モードは [モード変更] で指定できます。
キーコードリスト	プリンターに登録されているロゴと、プリンターに追加するロゴファイルを表示します。
キーコード	プリンターに登録済みのロゴ： ロゴデータのキーコードの左側に <input checked="" type="checkbox"/> が表示されます。 追加するロゴファイル： 設定するキーコードのみ表示されます。
画像ファイル	プリンターに登録済みのロゴ： (登録済) が表示されます。 追加するロゴファイル： 画像ファイル名が表示されます。
サイズ [バイト]	プリンターに登録済みのロゴ： 表示されません。 追加するロゴファイル： 画像ファイルのサイズが表示されます。
追加	画像ファイルを追加します。
編集	画像ファイルのハーフトーンや明るさを編集します。
削除	ロゴを削除します。
テスト印刷	選択したロゴを印刷します。 ロゴに [倍率]、[配置] を設定すると、設定した結果の大きさと位置で印刷します。

項目	説明
モード変更	<p>ロゴの登録モードを変更します。[モード変更]をクリックすると、「ロゴ登録モードの選択」画面が表示されます。</p> 
開始キーコード指定モード	<p>ロゴ管理用の識別コードを指定します。</p>
登録するロゴにキーコードを自動的に設定する。	<p>チェックすると、登録するロゴにキーコードを自動的に設定します。チェックを外すと、ロゴを追加または編集するときにキーコードを設定します。</p>
Advanced Printer Driver コントロールフォント設定モード	<p>Windows プリンタードライバー (Advanced Printer Driver) の場合、キーコードの代わりに、control フォント (h ~ l) で管理します。</p>
キーコードの管理	<p>プリンターに書き込まれているロゴのキーコードの確認や、ロゴを削除します。</p> 
キーコード取得	<p>登録されているキーコードの番号を取得します。</p>
プレビュー	<p>プリンターに登録する前の、ロゴのイメージが表示されます。登録済みのロゴのイメージは表示されません。</p>
倍率	<p>キーコードリストで選択したロゴの倍率を設定します。設定した結果は、[テスト印刷]またはプレビューで確認できます。実際に使用する場合には、コマンドから倍率を指定してください。</p>
配置	<p>キーコードリストで選択したロゴの印刷位置を設定します。設定した結果は、[テスト印刷]またはプレビューで確認できます。実際に使用する場合には、コマンドから配置を指定してください。</p>
ロゴインジケータ	<p>インジケータ：プリンターのロゴ登録可能メモリーサイズ 追加ロゴサイズ：リストに表示されているロゴのサイズ 使用量：登録済みロゴのサイズ</p>
ファイルに保存	<p>画像ファイルを、ロゴ登録ファイル (TLG ファイル) または、ビットマップファイルで保存します。</p>
プリンターに登録	<p>画像データを、プリンターに登録します。</p>

ロゴの書き込み

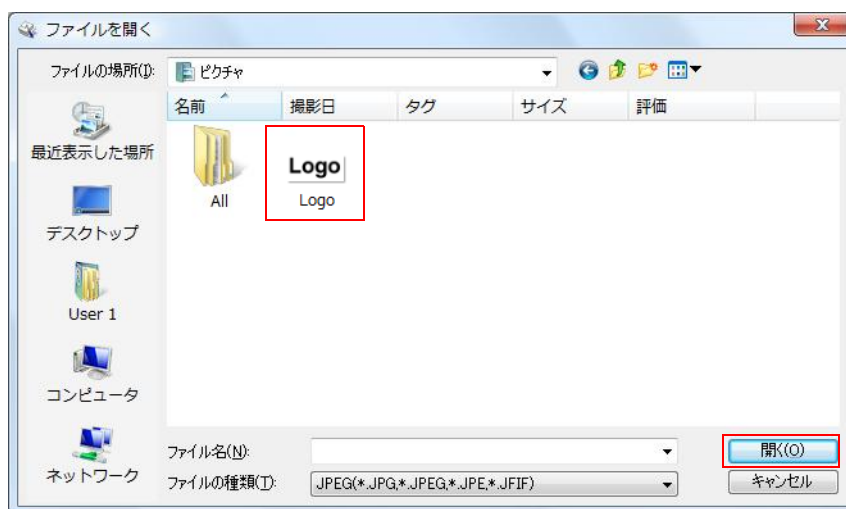
複数のロゴを登録する場合、まとめて一度にプリンターに書き込むことをお勧めします。登録したロゴをプリンター設定ファイルに保存する場合、➡ 30 ページ「設定の保存と復元」を参照してください。以下の手順でロゴを登録します。

1 [追加] をクリックします。

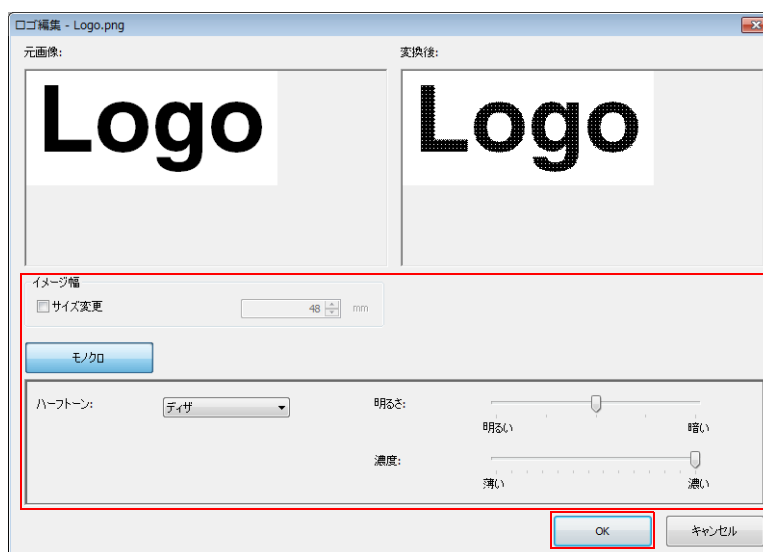


2 ログにするイメージデータを指定します。

指定可能なファイルサイズは、幅 2047 x 高 831 ピクセル (ドット) 以下の bmp, jpeg, gif, png ファイルです。ロゴの幅が用紙幅を超える場合は警告メッセージを表示します。[OK] をクリックし、ステップ3の [ロゴ編集] 画面で縮小してください。



- 3 [ロゴ編集]画面が表示されます。画面上部のプレビューを参照して、ロゴ用のイメージデータを編集します。編集が終了したら、[OK]をクリックします。

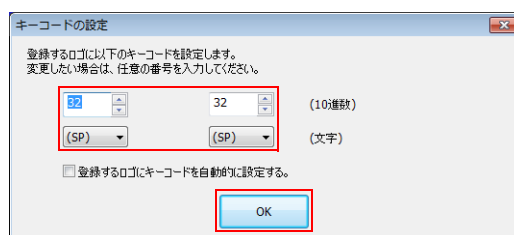


以下を設定します。

項目	説明
イメージ幅	リサイズ後の画像サイズを設定します。(設定値は mm です。)
サイズ変更	サイズの変更の有 / 無を設定します。 画像サイズが用紙幅より大きく、サイズを変更しない場合、用紙幅を超える部分は印刷されず切れてしまいます。
ハーフトーン	ハーフトーンの種類を、[デザ] / [誤差拡散] / [なし]から選択します。
明るさ	明るさを設定します。
濃度	濃度を設定します。

- 4 ロゴ登録モードが [開始キーコード指定モード] で、[登録するロゴにキーコードを自動的に設定する] にチェックされていない場合、"キーコードの設定"画面が表示されます。キーコードを設定し、[OK]をクリックします。

[開始キーコード指定モード]以外のロゴ登録モードや、[登録するロゴにキーコードを自動的に設定する]がチェックされている場合、"キーコードの設定"画面は表示されません。



- 5 リストにロゴデータが追加されます。複数のロゴデータを登録する場合、手順 1 ~ 4 を繰り返します。
- 6 プリンターに書き込むロゴデータをすべて登録後、画面右のインジケータでプリンターに書き込み可能なサイズか確認し、[プリンターに登録] をクリックします。



- 7 ロゴデータがプリンターに書き込まれます。また、ロゴデータはロゴ登録ファイル (TLG ファイル) にも保存されます。このファイルは、プリンター設定ファイルを作成する際に使用します。



ロゴ登録ファイルについて

ロゴ登録ファイル（TLG ファイル）は、ロゴをプリンターに書き込み時に自動的に保存されます。そのため、プリンター設定ファイルには、最後にプリンターに書き込んだロゴのデータしか保存されません。複数のロゴデータをプリンター設定ファイルに保存したい場合、すべてのロゴデータを一度でプリンターに書き込んでください。

すでにプリンターに登録済みのデータを保存するには、以下の手順を実施してください。

- 1 プリンターに書き込むロゴデータをすべて用意します。
- 2 プリンターに登録済みのロゴをすべて削除します。
➡ 16 ページ「[ロゴの登録](#)」を参照してください。
- 3 すべてのロゴを登録し、プリンターに一度で書き込みます。この手順により、すべてのロゴデータを含むロゴ登録ファイル（TLG ファイル）が作成されます。
➡ 18 ページ「[ロゴの書き込み](#)」を参照してください。

用紙節約

用紙節約の設定をします。以下の手順で行います。

- 1 [用紙節約] をクリックします。
- 2 画面の右側に表示されるプレビューを参照して、用紙節約の設定をします。



Advanced Printer Driver がグラフィックモードの場合、[上余白の削減] と [下余白の削減] 以外の設定は無効になります。

設定項目は以下のとおりです。

項目	説明
上余白の削減	上余白の節約の有無を選択します。[削減する] にすると、印刷開始から最初の印刷データまでの余白を削減します。
下余白の削減	下余白の節約の有無を選択します。[削減する] にすると、最終印字行から印刷終了位置までの余白を削減します。
行間の削減率	印刷行の、紙送り量の縮小率を選択します。最低 2 ドット紙送りします。縮小により、行間が 2 ドット未満になる場合、行間を 2 ドットにします。
改行の削減率	空白行の紙送り量の縮小率を選択します。上余白節約で削除された行は対象外です。改行のみで紙送りしてマニュアルカットする場合、この設定で Feed 量が縮小されて、最終印刷行がカット位置まで紙送りされないことがあります。
バーコード高さの削減率	バーコードエレメントの高さの縮小率を選択します。バーコードの高さが 30 ドット以下には縮小しません。 この設定により、バーコードサイズの規格を満たさなくなることがあります。

- 3 [設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。

印刷制御

プリンターに印刷制御の設定をします。
以下の手順で行います。

- 1 [印刷制御] をクリックします。
- 2 印刷制御を設定します。

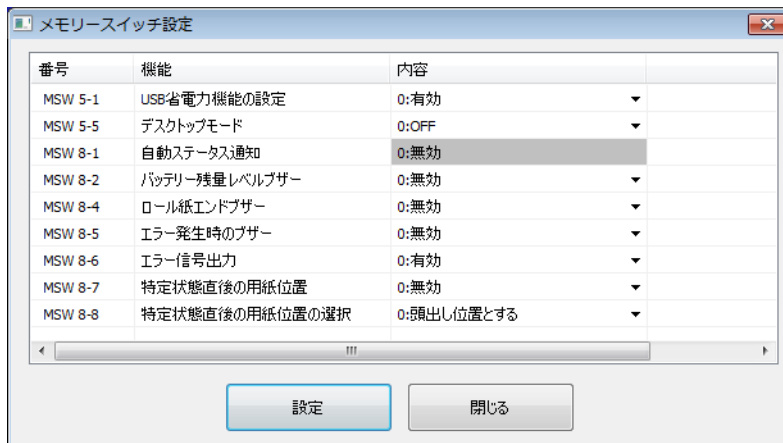
項目	説明
印字濃度	印字濃度を設定します。
印字速度	プリンターの印字速度を設定します。
オートパワーオフ時間	オートパワーオフ時間を設定します。
バッテリー充電モード	バッテリー充電モードの有無を設定します。
バッテリー残量少時の動作モード	バッテリー残量少時の動作を設定します。
オフライン中コマンド実行	オフライン中コマンド実行の有無を設定します。



プリンタードライバーと設定が重なる場合、プリンタードライバーの設定が優先されます。
プリンタードライバーの設定が優先される項目：

- 印字濃度
- 印字速度

- 3 [メモリースイッチ設定]をクリックします。
- 4 "メモリースイッチ設定"画面が表示されます。メモリースイッチを設定し、[設定]をクリックします。



ドライバー (Advanced Printer Driver/OPOS/OPOS for .NET) がインストールされている環境の場合、[自動ステータス通知] は変更できません。

- 5 [設定]をクリックします。設定がプリンターに反映されます。

インターフェイス

プリンターの通信を設定します。このユーティリティーでは、コンピューター側のポート設定は行いません。そのため、プリンターの通信設定を変更すると、プリンターと通信できなくなることがあります。その場合、プリンタードライバーなどコンピューター側の設定をプリンターの設定に合わせてください。以下の手順で行います。

1 [インターフェイス] をクリックします。プリンターのインターフェイスを自動識別して、通信設定画面が表示されます。

2 通信設定をします。

Bluetooth	Bluetooth通信を設定します。	➡ 26 ページ
USB	USB通信を設定します。	➡ 27 ページ
Wi-Fi	Wi-Fi通信を設定します。	➡ 29 ページ

3 [設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。

Bluetooth

Bluetooth 通信を設定します。

項目		説明
情報	BD アドレス	プリンターの BD アドレスが表示されます。
設定	デバイス名	デバイス名を設定します。[編集] をクリックすると、編集画面が表示されます。初期値は、TM-P20 から取得したデバイス名が表示されます。
	パスキー	パスキーを設定します。[編集] をクリックすると、編集画面が表示されます。初期値は、TM-P20 から取得したパスキーが表示されます。
	セキュリティ ^{*1}	TM-P20 を検索する際のセキュリティレベルを設定します。 [低]、[中]、[高] から選択できます。 ^{*2} [低]/[中] から [高] に変更したり、[高] から [低]/[中] へ変更したりすると、ペアリングが解除されて通信できなくなります。OS 側でペアリングをやり直してください。
	iOS デバイスの自動再接続	プリンターと iOS デバイスの通信が切断された場合に、自動で再接続処理を行うかどうかを設定します。プリンターを Windows 環境で使用する場合、設定不要です。

*1: プリンターが本機能に対応している場合に表示されます。

*2: プリンターに搭載されている Bluetooth モジュールによって、設定できる項目が異なります。

USB

USB クラスを設定します。



- UPOS はベンダークラスでお使いください。
- プリンタークラスで使う必要のない場合は、ベンダークラスで使うことを推奨します。

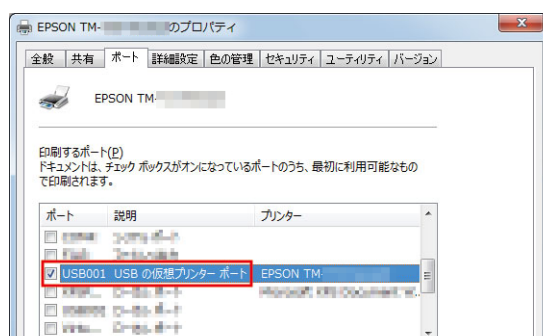
	項目	説明
情報	USB デバイス	USB デバイスの名前が表示されます。
	USB デバイスのバージョン	USB デバイスのバージョンが表示されます。
	USB の ID	USB デバイスの ID が表示されます。
	USB の情報	USB デバイスの詳細情報が表示されます。
設定 - USB クラス設定	プリンタークラス	プリンターをプリンタークラスに設定します。 ベンダークラスからプリンタークラスに変更すると、新しいキューが生成されます。 このキューからは Status API を使用できないため、削除して構いません。
	ベンダークラス	プリンターをベンダークラスに設定します。

Status API を使用できるキューの見分け方

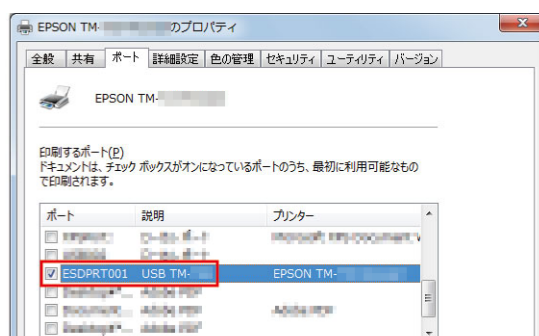
キューの [プロパティ]-[ポート] から、“ポート” と “説明” を確認してください。

- プリンタークラス
ポート：USBxxx
説明： USB の仮想プリンターポート
- ベンダークラス
ポート：ESDPRTxxx
説明： USB TM-P20

プリンタークラス

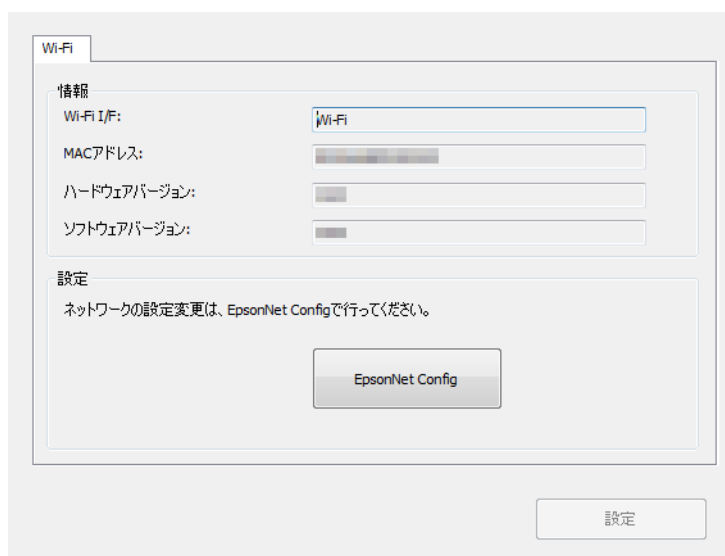


ベンダークラス



Wi-Fi

EpsonNet Config を起動し、プリンターの IP アドレスや Wi-Fi の設定をします。



	項目	説明
情報	Wi-Fi I/F	Wi-Fi インターフェイスの種類が表示されます。
	MAC アドレス	Wi-Fi インターフェイスの MAC アドレスが表示されます。
	ハードウェアバージョン	Wi-Fi インターフェイスのハードウェアバージョンが表示されます。
	ソフトウェアバージョン	Wi-Fi インターフェイスのソフトウェアバージョンが表示されます。
設定	EpsonNet Config	EpsonNet Config を起動し、Wi-Fi の設定をします。

設定の保存と復元

プリンターに設定されたデータをバックアップしたり、設定をプリンターに復元したりします。この設定は、故障したプリンターから新しいプリンター交換した時に、同じ設定をしたり、複数のプリンターに同じ設定をしたりする場合に使用します。



[設定の保存と復元]の機能は、ドライバー(Advanced Printer Driver/OPOS/OPOS for .NET)がインストールされていない場合、無効になります。

プリンターの設定をファイルに保存する

- 1 [設定の保存と復元] をクリックします。
- 2 "オプション"の中から、保存するデータをチェックします。

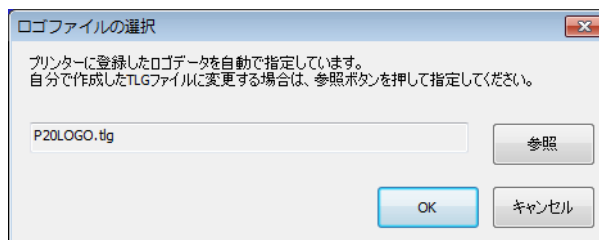
項目	説明
ロゴデータの保存	プリンターに登録したロゴデータを保存します。ここでは、プリンターからデータを取得するのではなく、ロゴ登録ファイル (TLG ファイル) を利用して保存します。詳細は、 ▶ 21 ページ「ロゴ登録ファイルについて」 を参照してください。
プリンターの設定値	プリンターの各種設定値を保存します。以下の設定値を保存します。 <ul style="list-style-type: none"> • 印刷制御の設定 • 用紙節約の設定 • メモリースイッチ設定 • インターフェイスの設定

- 3 [保存] をクリックします。バックアップの確認メッセージが表示されるので、[はい] をクリックします。

手順 2 で [ロゴデータの保存] をチェックした場合	手順 4 に進んでください。
手順 2 で [ロゴデータの保存] をチェックしなかった場合	手順 5 に進んでください。

- 4 "ロゴファイルの選択"画面が表示されます。最後に保存したロゴファイル名が表示されます。[OK]をクリックします。

保存するファイルを変更したい場合、[参照]をクリックします。



- 5 "名前を付けて保存"画面が表示されます。ファイル名とバックアップ先を指定して保存します。

設定をプリンターに復元する

- 1 [設定の保存と復元]をクリックします。
- 2 [参照]をクリックし、復元する設定ファイルを指定します。



- 3 [復元]をクリックします。復元の確認メッセージが表示されるので、[はい]をクリックします。
- 4 設定の復元結果が表示されます。

動作テスト

プリンターが正常に動作するか、プリンターとドライバーが正常に通信されているか確認します。以下の手順で行います。

- 1 [動作テスト] をクリックします。
- 2 動作確認したい項目をクリックします。

動作確認する項目は以下のとおりです。

- 印刷テスト

項目	説明
テスト印刷	テスト印刷します。正常に印刷されるか確認します。
ロゴ印刷	プリンターに登録されているすべてのロゴを印刷します。

- ドライバーテスト

項目	説明
テストするドライバーの選択	動作確認するプリンタードライバーを選択します
テスト印刷	テスト印刷します。正常に印刷されるか確認します。

- デバイステスト

項目	説明
通信テスト	コンピューターとプリンターの通信が正常か確認します。

Acknowledgements

About the Info-Zip License

This utility incorporates compression code from the Info-ZIP group.

This is version 2009-Jan-02 of the Info-ZIP license. The definitive version of this document should be available at <ftp://ftp.info-zip.org/pub/infozip/license.html> indefinitely and a copy at <http://www.info-zip.org/pub/infozip/license.html>.

Copyright (c) 1990-2009 Info-ZIP. All rights reserved.

For the purposes of this copyright and license, "Info-ZIP" is defined as the following set of individuals:

Mark Adler, John Bush, Karl Davis, Harald Denker, Jean-Michel Dubois, Jean-loup Gailly, Hunter Goatley, Ed Gordon, Ian Gorman, Chris Herborth, Dirk Haase, Greg Hartwig, Robert Heath, Jonathan Hudson, Paul Kienitz, David Kirschbaum, Johnny Lee, Onno van der Linden, Igor Mandrichenko, Steve P. Miller, Sergio Monesi, Keith Owens, George Petrov, Greg Roelofs, Kai Uwe Rommel, Steve Salisbury, Dave Smith, Steven M. Schweda, Christian Spieler, Cosmin Truta, Antoine Verheijen, Paul von Behren, Rich Wales, Mike White.

This software is provided "as is," without warranty of any kind, express or implied. In no event shall Info-ZIP or its contributors be held liable for any direct, indirect, incidental, special or consequential damages arising out of the use of or inability to use this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the above disclaimer and the following restrictions:

1. Redistributions of source code (in whole or in part) must retain the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions.
2. Redistributions in binary form (compiled executables and libraries) must reproduce the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions in documentation and/or other materials provided with the distribution. Additional documentation is not needed for executables where a command line license option provides these and a note regarding this option is in the executable's startup banner. The sole exception to this condition is redistribution of a standard UnZipSFX binary (including SFXWiz) as part of a self-extracting archive; that is permitted without inclusion of this license, as long as the normal SFX banner has not been removed from the binary or disabled.
3. Altered versions--including, but not limited to, ports to new operating systems, existing ports with new graphical interfaces, versions with modified or added functionality, and dynamic, shared, or static library versions not from Info-ZIP--must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source or, if binaries, compiled from the original source. Such altered versions also must not be misrepresented as being Info-ZIP releases--including, but not limited to, labeling of the altered versions with the names "Info-ZIP" (or any variation thereof, including, but not limited to, different capitalizations), "Pocket UnZip," "WiZ" or "MacZip" without the explicit permission of Info-ZIP. Such altered versions are further prohibited from misrepresentative use of the Zip-Bugs or Info-ZIP e-mail addresses or the Info-ZIP URL(s), such as to imply Info-ZIP will provide support for the altered versions.
4. Info-ZIP retains the right to use the names "Info-ZIP," "Zip," "UnZip," "UnZipSFX," "WiZ," "Pocket UnZip," "Pocket Zip," and "MacZip" for its own source and binary releases.